代数学I第1回レポート課題解答例

担当:大矢浩徳 (OYA Hironori)*

問題 1

 $\mathbb{Z}/25\mathbb{Z}$ において次の値の計算結果を $[n]_{25}(0 \le n \le 24)$ の形で答えよ.

- $(1) [43]_{25} + [72]_{25}$
- (2) $[35]_{25} \times [4]_{25}$

問題1解答例.

(1)
$$[43]_{25} + [72]_{25} = [43 + 72]_{25}[115]_{25} = [15]_{25}$$
.

(2)
$$[35]_{25} \times [4]_{25} = [35 \times 4]_{25} = [140]_{25} = [15]_{25}$$
.

問題 2 -

23²⁰ を 3 で割った余りを求めよ.

問題 2 解答例 1. $[23^{20}]_3 = [r]_3$ を満たす $r(0 \le r < 3)$ が求める余りである. 今,

$$[23^{20}]_3 = [23]_3^{20} = [-1]_3^{20} = [(-1)^{20}]_3 = [1]_3$$

П

より、求める余りは1である.

問題 2 解答例 2(フェルマーの小定理). $[23^{20}]_3 = [r]_3$ を満たす $r(0 \le r < 3)$ が求める余りである. フェルマーの小定理より,各 $n \in \mathbb{Z}_{>0}$ に対して,

$$[23]_3^{3^n} = [23^3]_3^{3^{n-1}} = [23]_3^{3^{n-1}} = \dots = [23]_3^3 = [23]_3.$$

であるので,

 $[23^{20}]_3 = ([23]_3^{3^2})^2 \times [23]_3^2 = [23]_3^2 \times [23]_3^2 = [23]_3^4 = [23]_3^3 \times [23]_3 = [23]_3 \times [23]_3 = [23]_3^2 = [529]_3 = [1]_3.$ よって、求める余りは 1 である.

問題2の解答例2の方法を一般化して考えると,以下のことが言える.

p を素数, $n \in \mathbb{Z}_{>0} (:= \{ 正の整数 \}) とし,$

$$n = n_s p^s + n_{s-1} p^{s-1} + \dots + n_1 p + n_0 \ (1 \le n_s, \dots, n_1, n_0 \le p - 1)$$

と書く. $(n_s n_{s-1} \dots n_1 n_0$ は n の p 進法表示.) このとき、フェルマーの小定理より、各 $a \in \mathbb{Z}$ に対して、

$$[a]_p^n = [a]_p^{n_s + n_{s-1} + \dots + n_1 + n_0}$$

となる. これを繰り返し用いれば, $[a]_p^n$ を $[a]_p^{n'}$ $(1 \le n' \le p-1)$ の形にすることができる.

 $^{^*}$ $e ext{-}mail:$ hoya@shibaura-it.ac.jp